

PEACE HIRAKATA



2025年度 LOMスローガン

『Strong Bonds』

～人と人の繋がりが力となる～



新春特別鼎談

北大阪商工会議所 会頭

久門 哲男氏

一般社団法人枚方青年会議所
第65代 理事長

林 勇太

枚方市長

伏見 隆氏



Junior Chamber International Japan
一般社団法人枚方青年会議所

JCI HIRAKATA PRESS
2025.1 vol.64

新春特別鼎談

一般社団法人枚方青年会議所
第65代理事長

林 勇太



枚方市市長

伏見 隆氏

北大阪商工会議所 会頭

久門 哲男氏



【はじめに】

林理事長…新年あけましておめでとございませう。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

また、公私ともにお忙しいうちへのお時間をいただき、誠にありがとうございます。

伏見市長・久門会頭…あけましておめでとございませう。本日はよろしくお願ひいたします。

「2025年度LOMスローガンについて」

林理事長…本年度私たちは、「Strong Bonds ～人と人の繋がり～」というスローガンを掲げ、明るい豊かなまちづくり運動を展開していきたいと考えております。

私は、枚方JICに入会して今年で10年になりますが、その中で人との繋がりが一番大事だと考えております。他団体や市政と様々な場面で連携させていただくことで、より強い絆が結ばれると思っております。このスローガンについて伏見市長と久門会頭のお考えをお聞きかせいただければと思います。

伏見市長…枚方JICの皆様は今年度、「人と人の繋がりが力となる」をテーマに様々な活動をされるということ、大変素晴らしいことだと思ひます。

枚方市としては、「新たな取り組みに挑戦し、若い世代、子育て世代からさらに選ばれるまちへと進化させる」という思ひで、将来にわたって市民が幸せを実感できる持続可能な発展の実現をめざしています。

1人でやるのと多くの人で力を合わせてやるのでは、やはりできることの大きさが違ひます。「枚方のまち

をよりよくする」という共通の目標を持つ若い世代の枚方JICの皆様には、引き続きフレッシュな発想で、市民の皆さんが枚方に対する愛着や誇りを持つてもらえるようなイベントや活動を展開されることを期待しております。

林理事長…ありがとうございます。私もこれまでの枚方JICでの様々な活動を通じて、やはり自分ひとりでできることは本当に少なく、常に周りの人に支えてもらっていると感じています。

もちろん、人数が多ければ多いほど大きなことはできるとは思ひますが、ただやるだけではなく仲間や友人と絆を醸成することが大切だと思ひます。しっかりと絆も深めていくために、このような鼎談の場を設けさせていただいたのですが、これからも市政や商工会議所と連携を取りながら、枚方JICとしてまちの発展のために邁進していく所存でございませう。

久門会頭…「Strong Bonds ～人と人の繋がり～」が力となる、良いスローガンですね。

人と人の繋がりが、強固な絆の大切さは、これからの時代に益々必要となつていくと思ひます。人との繋がりは、日常生活やビジネスにおける地域の活力を生み出す原動力になります。また、災害時などにも地域の中での繋がりが互いに助け合う気持ちを生み、



人々が安心して暮らせる環境を育んでいくと思ひます。商工会議所といたしましても、人との繋がりが、地域との繋がりが強固な絆となり、それが枚方への愛着となり、やがて大好きな枚方で笑顔で暮らしたいと願う子どもたち、若者たち世代に、そのような未来を描いてもらえたらよいと考えています。

そこに暮らしがあり、仕事があり、働ける環境があり、ビジネスでも地域内取引が活発であれば、よりよい枚方の未来が開けるのではないかと思ひます。

「選ばれるまちであるために（行財政改革の取り組みと環境・まちづくりへの取り組み）」

久門会頭…先日、仕事で2、3日タイへ行きました。タイでは、注文を受ける際にはファックスを使わず、すべてメールやチャットでやり取りをしていて、一足先の世界に進んでいると感じました。日本に足りないことがまだまだたくさんあると感じます。

林理事長…先日、私も台湾に行きましたが、現金がもうほとんど使われていなかったですね。タクシーを呼ぶのもスマホでした。台湾でも1人あたりのGDPは日本より上だと聞きます。たしかに日本は平均でいっただけで、近頃のラーメン屋さんに行ったら、クレジットカードやネット決済は何も使わず現金でお会計をしたので、日本では現金を持っておく必要があると感じました。

伏見市長…まだまだデジタル化やキャッシュレス化が進んでいない分野もあると思ひますが、先日、駅の改札でクレジットカードのタッチ決済が導入されたというニュースを見ました。京阪電車では、QRコードで

改札を通れるようになっていきますよね。

そういえば、宿泊先の自動販売機でジュースを買おうとしたら、小銭がなかったんです。仕方なくスマホで買おうと思って、その場で登録しようとしたんですが、これがなかなか難しく、1時間ぐらいかかってやっとできました。

市役所の手続きもデジタル化を進めていて、効率化やコスト削減など市役所と市民の両方にメリットがありますが、利用率を高めるために利用のしやすさを向上させていくことが重要かなと感じました。

林理事長…ただデジタル化やキャッシュレス化を進めるだけでなく、実際に使う人が利便性や効果を実感できないと普及していかないと感じます。環境や気候の変化に対応したまちづくりを、我々枚方JCとしても考えていかなければなりません。

久門会頭…環境や気候の変化は我々が日々実感するところまで来ています。地域の中小企業にとっても環境負荷の軽減、カーボンニュートラル、資源循環の取り組みは重要度が増していると感じています。

たしかに広い意味で考えると、環境に対する意識が高い市民や企業が集まるまちというのも一つのまちづくりかもしれません。枚方は駅周辺の再整備、道路整備、土地の開発計画、鉄道の高架化事業など、インフラ整備がどんどん進んでいると思います。

まちの様子が変化していく中で、商工会議所としても従来からの人と人との繋がりを大切に、住みよい、働きやすい、子育てしやすい枚方、そして住んでいて楽しい枚方になるよう、様々な施策を市が打ち出し、市民や企業が形にしていける、そのようなまちづくりができれば

した。私も子どもがいますが、昨年正月に令和6年能登半島地震が起きた際に、すぐに行動することの難しさを感じました。

ガイドブックで地震が起きた際の避難場所はわかるのですが、実際に何をしてどういう行動を取るべきか、日頃からもう少し認知していくことで、1人でも多くの人の手助けができると思っていますので、その意識が市民に伝わる事業を強く推し進めていきたいと思っています。

もちろん、災害に対する防犯グッズは色々あると思いますが、まずみんなで一緒に逃げられる、隣の家の人も一緒に逃げられるというまちづくりが大事だと思っていますので、その意識を市民の方々に発信する事業を考えております。

久門会頭…予測できない災害には日頃からの備えと情報が大切だと思います。市が出している防災情報をもとに自分の住んでいる地域の状況、避難場所の確認も大切だと思います。個人や企業も同じですが、個々の備えに加えて近所、地域などの繋がりが大切で地域の絆が一人でも被災者を少なくすることにつながると思います。人との繋がりが、思いやりを日ごろから心がけておくことが必要だと思います。よくいわれるように、人への思いやり、繋がりが回りまわっていつか自分に返ってくるかもしれません。

また、企業ではBCP(事業継続計画)の策定が大切だといわれています。被災した際に、いかに適切に対応し、業務をリスタートできるかの行動を計画に策定しておく、社員の生活を守る上でも大切だと思います。やはり日頃からの心がけと備えが大切



よいと思います。

「2025大阪・関西万博とそれに向けてのひらかた万博について」

久門会頭…枚方市は、市民が主体となった祭りやイベントが大小を問わずたくさんあり、それが枚方の特徴の一つではないかと感じています。フェスティバル協議会のご活躍もあり、枚方JCの皆様が中心となって開催される枚方まつりをはじめ、市民にとっては近くでいつも楽しいことが開催されている楽しくて賑わいのあるまちでもあると思います。

ひらかた万博は、まさにそのような枚方の特徴を大いに打ち出すチャンスと捉え、枚方JCの皆様も商工会議所も情報発信していけば、機運も上昇するのではないかと思います。

大阪・関西万博には枚方市と一緒に商工会議所は大阪ウィークの「やりなはれ」、「たべなはれ」に不器用ファクトリー(オープンファクトリー)の枚方・寝屋川版)や枚方の特色を活かした食に関する商品を出展する、また海外の領事館などにこの機会に枚方に来てもらい、枚方の特色をアピールし、ビジネスマッチングにつながる事業を実施します。ぜひ、一緒に楽しい枚方をアピールできればよいと考えます。

伏見市長…「ひらかた万博」は、大阪・関西万博の開催にあわせて、地域資源を磨き上げ、枚方を魅力あふれるまちへと成長させるとともに、地域・経済の活性化やまちへの愛着向上を図るための取り組みです。

例えば、先日テレビ番組で取り上げていただいた枚方宿では五六市が行われていたり、淀川では舟運の活用やカヌー・サップなどのアクティビティをやっていたり、また河内首頭の源流といわれている交野節の継承

だと思っています。

林理事長…行政と連携しながら防災対策を進めていくのはもちろんですが、今年1年間でこの防災への取り組みが終わるわけではなく、この先も継続していかないと、認知度も低くなっていくと思います。最近起きたことでも、5年後、10年後には忘れてしまっている人が多いと思いますし、枚方JCとしても今年の事業の成果を未来に紡いでいくために、行政だけでなく民間企業や関係諸団体も巻き込んで、何かあった時の助けや物資の調達について、すぐに連携が取れる形を整えておきたいと考えております。



伏見市長…市でも防災施策に取り組んでいますが、やはり市民の皆さん一人ひとりの意識を高める取り組みが必要だと感じます。皆さん常に防災のことを考えて生活しているわけではないですが、普段から災害に備え、突然やってきた時にどれだけ動けるか。川の氾濫など、経験したことがないことが起きた時でも、迅速に対応できるかが大切です。

実際に、避難指示が出た時に全員がすぐに避難するかというと、やはり難しいと思います。本当にそのあと災害が発生するかというと必ずしもそうとは限らないわけですから、人はどうしても「今回もきっと大丈夫だろう」と思ってしまいます。そして、いざという時に手遅れになる可能性もあります。防災に対する意識づけはすぐ難しいなと感じますが、実際に経験することはできませんので、防災訓練では、今まで起こっている事例を自分事だと思ってもらうような取り組みを進めていく必要があると考えています。

を目的に活動している盆踊りチームがいたりします。

観光地として大阪や京都と勝負することはなかなか難しいかもしれませんが、このように地域資源を活用して魅力ある観光コンテンツや特産品を開発することで、市民の皆さんに改めて枚方のよいところを知ってもらうことや誘客につなげていきたいと思っています。大阪・関西万博には約2800万人が来場するといわれていますので、その中で一人でも多くの人に枚方にも来てもらうために、受け皿を作っておくことが必要です。そして万博をきっかけにできた枚方の地域資源や賑わいを将来のまちづくりにつないでいけるよう取り組んでいきますので、ぜひ枚方JCの皆様にも色々なアイデアを出していただければと思います。

林理事長…ありがとうございます。枚方JCとしては枚方フェスティバル協議会の事務局運営を担っており、その中で主催事業である枚方まつりについて、昨年初めて10月に開催させていただきました。熱中症等の不安要素がなくなったことが一番大きいと感じております。

来場者の出入りが少し少なかった部分もあるのですが、まずは市民に枚方まつりを安心安全に楽しんでもらえるのかを考えた結果だと思っています。今年の枚方まつりも昨年の反省を踏まえ、多くの方とコミュニケーションを取りながら、開催いたします。

「市民や地域を守るために、来る災害における防災についての想いと対策について」

林理事長…2025年度、メイン事業として防災事業を実施していきたいと考えております。

昨年10月に、能登半島にボランティア活動に行きま

「おわりに」

林理事長…伏見市長、久門会頭、本日はお時間いただきありがとうございます。私たちは青年経済人として、明るい豊かな社会の実現に向けて、志高く挑戦し続けます。

本年度、絆をさらに強固なものにするためにも、まずはこの経験をメンバーにしっかりと共有させていただきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

誠にありがとうございました。



取材・記事・写真…

濱田大輝・廣瀬公彦・栗原芳季・上山将幸

シニアクラブ 訪問記

訪問した先輩

有限会社トレプ 代表取締役

第58代理事長

藤田 伸行 先輩



2018年度 LOMスローガン

「We have a Dream」
～青年らしく勇猛果敢に行動
しよう！常に相手がいること
を忘れずに～

Q1 藤田先輩が入会されたきっかけを教えてください。

入会したきっかけは、枚方に知り合いがあまりいなかったこともあり、人脈作りのために入会しました。元々JCという団体は、僕の父が先に入会して知っていたので、父に入りたいと伝えて、当時の拡大委員会の副委員長からお電話をいただきました。本当は、19歳の時から入りたいと思っていたのですが、20歳からの入会なので20歳の時に入会しました。

Q2 当時掲げたLOMスローガン「We have a Dream」～青年らしく勇猛果敢に行動しよう！常に相手がいること～を教えてください。

キング牧師の「I have a dream」のような、「こんな会社になりたい」「幸せになりたい」という漠然とした想いを、JCという団体を通じて、やりたいことや仲間づくりができたらいなと思いい、「We have a Dream」というスローガンにしました。後に紐づけている、「常に相手がいることを忘れずに」という部分は、やられて嫌なことやこ言ったら相手はどう思うかなというのを、JC内部だけではなく、外部の方や関わるすべての人に対して、メンバーも気をつけてほしいという想いを込めて決めました。

Q3 枚方まちの想い出をお願いします。

現状の枚方フェスティバル協議会の運営について、現役の皆さんがどこまで知っているかはわかりませんが、枚方ま



一般社団法人枚方青年会議所
第65代理事長
林 勇太

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より一般社団法人枚方青年会議所に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年は、「Strong Bonds」～人と人の繋がりが力となる～をスローガンに掲げてJC活動に邁進していく所存でございます。人と人の繋がりは組織や社会にとって欠かせないものであり、一人の出会いを大切に、私たちが強い絆を結び支え合う仲間とともに、明るい豊かな社会の実現へと繋げていきます。

繋がりを作るために出会いを求め、同志を一人でも多く増やしていくことが大切ですが、増やすだけではなく相手を知り絆を深めていくことで次世代に引継ぎ、より強い組織になると考えています。また防災事業への取り組みを行い、この先起きるかも知れない未曾有の災害から命を守るためには、一人ひとりの災害に対する心構えが重要です。もしものときには、人的支援や物資の提供を迅速に進めることが何よりも大切になります。復興事業に携わっている民間企業や行政と協働すること、防災に対するJCメンバーの学びを深めるとともに、地域へ発信する機会を提供します。

皆様におかれましては、一般社団法人枚方青年会議所の運動に對しまして、引き続きのご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



枚方青年会議所
シニアクラブ代表幹事
井上 義孝

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2025年度枚方青年会議所シニアクラブの代表幹事を務めさせていただきます。昭和41年生まれの井上義孝です。どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。私は1992年に青年会議所に入会、15年間にわたり、枚方青年会議所には大変お世話になりました。還暦を目前に控えるこの時期に、このような役職をさせていただけることに感謝するとともに、とても誇らしく思っております。

1976年に枚方青年会議所シニアクラブは発足して以来、わたくしで50人目の代表幹事ということになります。半世紀という長きに亘り、今日までシニアクラブを継続していただきました各先輩方には敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。今では一般社団法人枚方青年会議所の後方支援団体として、現役メンバー達と大変素晴らしい関係を築くことができているのではないのでしょうか。

本年度は340名を超える大所帯となりました。枚方青年会議所シニアクラブの将来を見据えて、幹事会の皆様とともに、シニアクラブのメンバーの交流が引き続き活性化するように、建設的に会議を進め、次年度へと継承できるように努めてまいります。

コロナ禍、創立60周年を経て、現役メンバーに於かれましては大変な時代を乗り越えてこられたと思います。SNSなど加速度的にシステムや情報に変化する時代だからこそ、人と人の交流や対話することの大切さなど、普遍的なことを大事にしてください。そして、「英知」と「勇気」と「情熱」をもって理想の地域社会の実現へ向け取り組んでいただきたいと思います。結びになりますが、一般社団法人枚方青年会議所に関わりのある全ての皆様方の、本年度のさらなるご活躍、並びに、ご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

りは昔、単独の「出向」という位置づけでした。

当時は、JCから各室長・委員長が枚方まつり実行委員会に出向していました。現在やっている、くらわんか花火大会の前段となる、当時のくらわんか花火大会の時はまさにJCメンバー全員でやっていました。

枚方まつりの一年前から花火の打ち上げに向けて、いろいろな部会に振り分けられるのですが、私はその中で企画部会を3年務めさせていた。水辺公園の河川敷で枚方まつりと一緒に花火の打ち上げをやっていた。

前夜祭として駅前で市民祭をやっていた。その翌日の日曜日にドーンという花火大会をやりましたが、その年に大口スポンサーが手を引きました。しかし、この花火を続けようぜ！と先輩たちが立ち上がったのを機に「さあ、JCとしてこの花火大会をどう続けるのか」となった時に、協賛を募って花火大会を存続させることに成功しました。その時に、いわゆるお弁当付きの協賛席というものも当時の企画部会が考えて、市からの補助金も出していたようになりました。

最終的には布団太鼓や枚方の各地にあるまつりを一つのプラットフォームとして枚方フェスティバル協議会を作ろうとなり、JCの主催事業として枚方まつりを続けていくことになったという歴史があるのです。

Q4 藤田先輩といえば、枚方まつりと同日開催されたドリームフェスタ2018に熱い想いを持っていた。当時の想い出を教えてください。

ドリームフェスタはなんでしたか？と聞かれたら、サマーコンファレンスや全国大会のような催しを枚方版としてやりたかったという想いがあります。各委員会が事業計画を立て一年間様々な事業を行うので、その集大成としてドリームフェスタを開催しました。

枚方JCが主管として開催するまつりがあるということを地域に発信するために、ドリームフェスタを開催しましたし、協賛活動も行いました。各委員会メンバーが自分たちのやりたい事業に対して協賛を募っていますと伝えたかったのです。



一般社団法人枚方青年会議所
直前理事長
木崎 大介

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は枚方市行政の皆様方、北大阪商工会議所をはじめとする各種関係団体の皆様方、一般社団法人枚方青年会議所の事業・運動に對し深いご理解とご支援、ご協力を賜りましたこと誠にありがとうございました。

そして、私たちが最も敬愛する枚方青年会議所シニアクラブ先輩諸氏の皆様方には、私たち現役の運動に對しまして、物心両面からお支えいただきましたこと、心より深く感謝し厚く御礼を申し上げます。

また、2024年度、新年早々に石川県能登半島沖において発生した地震で、社会全体が不安に包まれる中、発災直後より日本JCと連携し、枚方JCとしても早期に支援物資の調達や人的支援を行うことができましたのも、ご支援・ご協力をいただきました皆様方に心から感謝御礼を申し上げます。今後の復興支援に際しても、よろしくお願ひ申し上げます。

2024年度は「万緑一紅」～私たちの笑顔が未来へと繋がる～をスローガンとして掲げ、万緑生い茂る中にも一輪の輝く花があるように、私たち一人ひとりが輝く個性を発揮し、常に笑顔溢れるメンバーと共に運動を展開してまいりました。私たち青年が活力溢れる行動力を示し、地域の子ども達と共に夢を語り希望溢れる枚方の未来を創出することが大切だと確信した一年でした。一人ではできないことを合わせ地域との絆を深め、郷土愛と帰属意識を醸成しつづけ、今後も明るい豊かな枚方の未来へと繋げてまいります。

2025年度も林理事長の素晴らしいリーダーシップのもと、青年らしく英知と勇気と情熱を持ち、メンバーと強い絆を結び、枚方の明るい豊かな未来と子ども達のために、愚直に運動を展開してまいります。昨年賜りましたご支援・ご協力を引き続き、2025年度にも賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

が枚方の地で開催できて、改めて枚方の魅力を市民や来場者に発信できたと思います。今後は、ぜひ地区大会や全国大会にも挑戦してほしいと思います。

Q5 現役メンバーに一言お願いします。

JCは40歳で卒業という期限がある団体だからこそ、日々精力的に活動している現役メンバーには敬意を表します。

事業への参加についてお伝えするならば、例えば例会の出席率というのは講師ありきではないですし、良い講師がきたらといって出席率が上がるわけでもないです。事業を作る側がどれだけ工夫しているかということ、メンバーにどう伝えるかが大事だと思います。そのためには日頃のコミュニケーションがとても大切になってきます。

例会というものは、理事長をはじめとする理事メンバーや各委員会の、この一ヶ月間の活動報告と、これからの一ヶ月の事業予定、例えば枚方まつりに向けての行動報告などの場だ、ということをお伝えしていくことが大事だと考えております。ただ単に、例会に来てくださいというのではなく、理事メンバーが各委員会やメンバーにどう工夫して伝えて、例会に連れてくるかが大事なのです。メンバーはゲストじゃない。皆同じ会費を払っていて、決して誰かが偉いわけでもないのだから、みんなで行って士気を高めようという会話まで、メンバー一人ひとりができるようにすれば、自ずと出席率は上がると思います。せっかく入会したのなら、後悔のないように様々な事業に全力で取り組んでもらいたいと思います。

もっと普段の会話や懇親会からJCの会話が仲良くなってほしいと思います。現役メンバーの皆さんの今後の活躍に期待しています。



取材・記事・写真：濱田大輝・廣瀬公彦・栗原芳季・江頭采末

2024年度 事業報告

3月度例会



講師：松永 真樹 氏
株式会社Globe 代表取締役

「大人の夢とは」
～自分の人生にフォーカスしよう～

4月度例会



講師：一般社団法人枚方青年会議所
各委員会

ふせい
付勢～Whyから始めよう～

5月度例会



講師：丸山 ゴンザレス 氏
ジャーナリスト

「多文化共生の未来」
～枚方から世界に羽ばたこう～

担当月例会



講師：ルー大柴 氏
タレント

笑顔満点
～JCみんなでトゥギャザーしようぜ～

7月度例会



講師：大原 学 氏
一般社団法人マツリズム 代表理事

「地域の魅力を
発信することの大切さ」

9月度例会



講師：サニー・フランシス 氏
タレント・ラジオDJ

「to the future」
～交流のある未来～

10月度例会



講師：春木 開 氏
株式会社Cross Consulting 代表取締役

戦略的発信
～検証と改善で意識的に興味を持たせよう～

JC CLUB



新入会員がJC活動の本質を知り、学んだことをアウトプットすることで、JAYCEEとして主体的に行動する人財へと成長することができました。

わんぱく相撲



地域とのつながりを通じて、子どもたちが礼節・思いやり・努力をすることを学べるわんぱく相撲を開催しました。枚方出身の女子が勝ち上がり、全国大会に出場しました。

ASPACアンコール大会



ASPACアンコール大会での各種プログラムや会議を通じて、アジア・太平洋地域の各地から参加するメンバーと交流し、異国の文化を知り、友好関係を築くことができました。

近畿地区大会奈良大会



近畿地区が一同に集結し、地域の人々の情報交換や地域向上の場となりました。奈良の地でブース出展も行い、枚方の食を強くアピールできたと思います。

3JC合同事業



枚方JCメンバーが交野JC・寝屋川JCと共に学び、交流することを通して、より強固な絆を深めることができました。

京都会議



新年度のスタートとなる京都会議に参加することで事業の盛り上がりを感じ、一年の日本青年会議所運動の方向性を参加者全員で共有できました。

シニアクラブとの交流会(春・秋)



先輩諸氏が脈々と紡いでこられた歴史をお話いただくとともに、現役メンバーから感謝をお伝えすることで、より強固な信頼関係を築くことができました。

大阪BC大会枚方大会

大阪のJAYCEEが枚方の地に集い、はじめて行われた大阪BC大会枚方大会。

青年経済人としての使命や責任を抱き、改めて青年会議所の意義や魅力をみんなで考え、素晴らしい大会になりました。



地域のリーダーを創出する事業

「Try!Try!Try!」

～行動する力を身につけよう～



小学校高学年の子どもたちが様々な分野の疑似体験や成功体験を通じて、何事においても自ら「行動」することが大切だということを学んでもらいました。

子どもたちの自立心を醸成し、他者と協力し自ら行動することのできる人財になれるような事業を実施しました。

姉妹JC(彰化JC)との交流事業

姉妹JCの彰化JCとの絆を一層強固にするために、枚方へ招き、歴史・文化・伝統に触れ、国際交流の素晴らしさを肌で感じました。

次世代へと繋いでいき、多種多様な価値観を育める機会になりました。



枚方まつり2024

安心安全な市民まつりを目指し、はじめて「秋まつり」として開催した枚方まつり。

最高の天気で、日中過ごしやすく、新たな目玉もできました。産・学・官・民と協働し、来場されたすべての方々に楽しんでもらうことができ、大成功で終わることができました。



2025年度 委員会紹介

拡大委員会

委員長 岡山貴範
拡大委員会では、今年度の拡大目標55名を目指し、新入会員を大募集しています！数多くの同士と一緒に枚方JCを盛り上げていきましょう！



地域の絆醸成委員会

委員長 岩上了仁
子どもたちと地域の企業が手を携え、地域社会における課題を話し合い、より良い未来への架け橋となる事業に取り組みます！



国内渉外交流委員会

委員長 大濱暢祐
友好JCである中村青年会議所との交流事業を通じて、交流の楽しさ素晴らしさを伝えていきます！この友情を次世代に紡いでいけるよう頑張ります！



枚方フェスティバル運営委員会

委員長 張 富文
枚方には伝統行事がたくさんあるので、1人でも多くの地域の方々に巻き込んで、魅力を伝え楽しんでもらえるようにします。



LOMの価値確立委員会

委員長 栗原芳季
枚方メンバーが作り上げる魅力的な事業を、広報誌・Instagram・HPを駆使して広報していきます！1人でも多くの人に届くよう頑張ります！



LOMの未来向上委員会

委員長 岡林明子
枚方JCの団結力を一層高めるために、LOMの未来を担うJCメンバーに多様な交流の機会を創出します。



国際渉外交流委員会

委員長 田代真央
姉妹JCである彰化JCとの友情を強固にするために、台湾へ赴き国際交流の魅力を体験し、次世代へと繋いでいきます。



枚方まつり実施委員会

委員長 川人康輝
10万人規模の大きなイベント「枚方まつり」。来場した方はもちろん、運営側も楽しめる、思い出に残る枚方まつりを企画・準備していきます。



総務委員会

委員長 山口直也
枚方JCメンバーが地域のため、未来のために事業を実施できるように日々会議の設えをしています。総会・祝賀会といった事業を行いながら、少しでもみんなのJC運動に身を捧げられれば幸いです。



LOMの力確立委員会

委員長 山下洋平
当委員会では、地域の人々と共に成長していける機会を創出して枚方JCの力を確立します！



nagao
KINDERGARTEN

インターナショナルスクール
開設しています！

学校法人長尾学園 長尾幼稚園
枚方市長尾東町1丁目4-8 2F
TEL 072-858-5882 FAX 072-858-0052
URL <https://www.nagaoyouchien.com>

NAKANO

株式会社中野重機

〒573-0076
枚方市東香里元町10番55号
072-854-0955

鉄板居酒屋 **TOMMY**

代表 張 富文

〒573-1106 枚方市町楠葉1丁目1-8
TEL 072-857-1221
URL tommy-hirakata.com

(株)TAKE

〒573-0016
枚方市村野本町16-33
072-808-8817

チャイルド・ルーム・ヒナ

〒619-0238
相楽郡精華町精華台2丁目11-1
0774-98-3866

代表
山下 洋平
Yamashita Youhei

合同会社ヤマトサービス

〒569-0053 大阪府高槻市春日町32-4
TEL 072-671-6993
FAX 072-671-6993
Mobile 080-3826-2333
E-mail y.yamasita1@gmail.com

2025年度 事業予定

枚方JCへの新たなメンバー

現代の多様な社会との調和や融合を通して、拡大運動を積極的に行っていきます。

枚方JCが地域に必要とされる組織として存続していくためにも、枚方JCとしても一丸となった拡大運動に取り組み、次世代へ繋げていきます。



防災への取り組み

実際に被災地での奉仕活動を通じてJCメンバーが学んだことを活かし、災害時に地域の人々が自助・公助を理解し、行動できる公開例会を企画・実施いたします。



姉妹JC(彰化)との交流



姉妹JCの彰化JCとの絆を一層強固にするために、台湾へ赴き歴史・文化・伝統に触れ、国際交流の素晴らしさを次世代へと繋いでいき、多種多様な価値観を育める機会を提供します。

枚方まつり 2025



持続可能で安心安全な枚方まつりを実現するために、産・学・官・民と協働し、全ての人が枚方のまちを楽しんで思い出に残る企画・立案・実施します。

BAR laughtail
presents
2024



専務取締役 大島 充
総合金融代理店
(生命保険・損害保険・住宅ローン・資産形成)
〒612-8362
京都府京都市伏見区西大手町307-29
TEL: 075-266-9675 FAX: 075-366-9676
mail: osima1990@gmail.com

てらまち法律事務所

弁護士 榮田 翔太郎

〒604-0992
京都府京都市中京区藤木町24-23
075-744-0451

総合建築業



株式会社ヤマゲン工務店
YAMAGEN KOUMUTEN

代表取締役 山元 孝

〒573-1155 大阪府枚方市招提南町1-56-6-101
TEL: 072-807-4114 FAX: 072-807-4124
mail: yamamoto@yamagen-gy.com



株式会社 広瀬自動車

板金塗装

修理

販売

車検

整備

車買取

代表取締役 廣瀬 公彦
hirose kimihiko

〒566-0064 大阪府摂津市島崎中3丁目4-41

☎ 072-646-8166
☎ 072-646-8167
☎ 090-5154-5681

大誠設計事務所



代表
稲葉 潤

開発許可 / 宅造許可 / 測量業務一式

570-0003 大阪府守口市大日町1-15-26-403
tel: 06-6914-9652 / fax: 06-6914-9653
mail: taisai-sekkei@videw.com

一般社団法人枚方青年会議所(枚方JC)とは

青年会議所(JC)とは

青年会議所には、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

一般社団法人 枚方青年会議所(枚方JC)とは

1962年枚方青年会議所(枚方JC)は、全国で221番目に設立されました。以降半世紀にわたり脈々と歴史を刻みながら、地域特性を活かしたまちづくりや子どもたちの育成、まつりなどの事業を通じて様々な運動を展開しております。一般社団法人枚方青年会議所(枚方JC)には、約200名のメンバーが在籍しており、各々が会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献しております。

PEACE HIRAKATA
vol.64

アンケートに
ご協力ください。



枚方JC
ホームページ



枚方JC
Instagram

一般社団法人枚方青年会議所 2025年度理事役員紹介 <http://hirakata-jc.jp/>

JCI枚方 検索 クリック!

 理事長 林 勇太	 直前理事長 木崎大介	 特別顧問 白石和也	 副理事長 米田健人	 副理事長 日吉田義弘	 副理事長 井上杜宏	 専務理事 濱田大輝	 室長 吉永 翔	 室長 大島 充
 室長 榮田翔太郎	 室長 山元 孝	 室長 船井昭宏	 室長 廣瀬公彦	 事務局兼室長 稲葉 潤	 財政審査会議議長 池田玲実	 委員長 岡山貴範	 委員長 岡林明子	 委員長 岩上了仁
 委員長 田代真央	 委員長 大濱暢祐	 委員長 張 富文	 委員長 川人康輝	 委員長 栗原芳季	 委員長 山口直也	 委員長 山下洋平	 監事 松田輝治	

2025年度 LOMスローガン

『Strong Bonds』

～人と人の繋がりが力となる～

2025年度LOMスローガン
『Strong Bonds』
人と人の繋がりが力となる

人と人との繋がりは、組織や社会に大切なことです。それは、一人の力ではできることが限られているからです。大切な人や、これから大切な人になる人がきつといるはず。一人ひとりの出会いを大切に繋がることで、仲間が増え大きな力となります。そして、「何ごとにも相手がいること」を意識し、思いやりの心をもつことが、人間関係や組織づくりには欠かせない要素です。一人ひとりが強固な繋がりととなり、支え合う仲間になると信じています。JCには交流する機会が多くあり、色々な出会いがあります。社会の課題と向き合い、地域の中で希望をもちたらず存在であり続けるために、相手に思いやりをもった人財へと成長し、JCメンバーとともに強い絆を構築し、人と人との繋がりが力の源となり、明るい豊かな社会の実現へと繋げてまいります。

JCの魅力を中心に伝え、メンバー同士の絆が深まる人財育成運動の実践

JCは、一人ひとりが繋がりを、互いに切磋琢磨し、メンバー間の絆を築いていく団体です。同じ志をもったJCメンバーが相手に思いやりをもち、JCメンバー同士が支え合い、互いの絆を深めることが大切です。そして、JCメンバーが自発的に行動できる人財に成長するために、様々な課題解決に向けて密なコミュニケーションを図ることで、誰もがJC運動に邁進できる環境を整備します。

地域との繋がりを深め、未来を担う人材育成の創出とJCでしかできない交流を通じて、相互の絆を深めることで得られる成長機会の創出

私たちが子どもたちと社会の懸け橋となり

世代とのコミュニケーションを経て、大人たちとの絆を育み、ソーシャルスキルを体得した子どもたちが、地域に目を向け課題を提起し、家族や地域に伝播することで、自立心をもった人財を創出します。枚方JCは先輩諸氏が友情を今日まで紡いできたおかげで台湾にある彰化JCと姉妹締結58年目を迎え、高知県にある中村JCと友好締結53年目を迎えます。より強固な信頼関係を築くためにも、1年間積極的交流をしていきます。

参画団体と協働し誇りあるまち枚方を目指した運動の実践

枚方フェスティバル協議会の主催事業である「枚方まつり」は、市民一人ひとりが、まちの文化・歴史・伝統に触れ理解し、誇りあるまち枚方を発信する担い手となることを目的としています。枚方の魅力をさらに強めるために、枚方JCと産・学・官・民が一体となり強固な絆を深めることで、市民がそれぞれの立場で主体的に参加できる環境を整え、郷土愛を育み、市民と繋がる「枚方まつり」を構築していきます。

枚方JCの運動を円滑に行う業務と自然災害からまちを守る学びの場の創出

昨年は日本各地で地震や水害で多大なる被害が発生しました。我が国は、災害とは切っても切り離せない関係であり、この先起きるかも知れない未曾有の災害から命を守るためには、一人ひとりの災害に対する心構えが重要です。もしものときには、人的支援や物資の提供を迅速に進めることが何よりも大切になります。復興事業に携わっている民間企業や行政と協働することで、防災に対するJCメンバーの学びを深めるとともに、地域へ発信する機会を提供します。





枚方JC

検索
クリック!

NeXus
Sign maker SIGN・TEXT・NEON・LED

林 勇太
Yuta Hayashi

〒576-0051
大阪府交野市倉治7丁目32-3 桜道102
tel:072-896-8832
fax:072-846-6897
mail:nexus.katano@gmail.com
mobile:080-1520-9087

建築・内装軽鉄・内装仕上工事

SOUSHIN
内装工事・建築工事

株式会社 創信
SOUSHIN

大阪府建設許可（特-30）第99738号
〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594

寿司・鮮魚

魚和水産

UOKAZU SUISAN 和食

産地直送よってって 枚方北山店舗内

鮮魚は何でもご相談ください！
別注受付中

大阪府枚方市北山 1-23-1
TEL 072-855-0357

建築設計・土木設計

DAIKI

代表取締役 濱田大輝

〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2
TEL:072-860-2811 / FAX:072-860-2812
mail:d-info@daiki-ltd.co.jp

看板

設計・製作・施工・デザイン・申請代行
のぼり・ちょうちん・ステッカー・電飾・箱文字
その他相談 無料で乗ります！

株式会社 松田工芸社
TEL.072-847-5251

プレハブ建築・製造・販売・リース業

有限会社 井上商事

代表取締役 井上義孝

〒573-0065 大阪府枚方市出口5丁目5番37号
TEL 072-833-6281(代)
FAX 072-834-2955 番
携 帯 090-3262-7972
E-mail: inohouse@ninus.ocn.ne.jp

総合建設業
産業廃棄物処分業

建てる会社。
河本興業(株)

<https://wellhouse.biz>

本社：
中宮西之町3-8 TEL:072-840-3221
枚方リサイクルセンター：
中宮大池4丁目3-6 TEL:072-807-6550

焼肉

焼肉 てつ

厳選された上質な和牛を提供しております！
御予約受付中

〒573-1107 枚方市楠葉中町1-5
TEL:072-894-9366

JOB グループ (株)ジョブ建設
枚方市清西1-22-10 (株)JOB警備保障
(株)ケイトアール

通信業・OA機器

ICTサポート

代表 日吉田義弘

〒573-1105
大阪府枚方市南楠葉2丁目2-3
Tel:072-851-1111 Fax:072-851-1100
E-Mail:ganbaru.happy.sp@gmail.com

庭園設計・施工・管理
土木工事 伐採・除草工事等

株式会社 井上造園

代表取締役 井上杜宏

〒573-0163 大阪府枚方市長尾元町1-33-67
TEL:072-860-7093 FAX:072-807-8866
mail:inouezouen1013@gmail.com